

第2学年 外国語（英語）科 学習指導案

日時： 年 月 日（ ）第 校時
場所： 中学校 年 組
生徒： 名
指導者： 中学校 ○○○○

1. 教材名

BLUE SKY English Course 2 (啓林館)
Unit 8 Working Overseas

2. 指導について

(1) 生徒について

【省略】

(2) 教材について

本題材では、世界各地で活躍する日本人を紹介することで、外国文化や外国での出来事に関心をもたせることを目的としている。また、グローバル社会が進展する中、生徒たちに日本だけでなく世界各地で活躍できる場所があることに気づかせ、世界で誰かのために役に立ってみたいという意識も育みたい。文法事項としては、受け身（肯定文・疑問文・否定文）及び助動詞を含む受け身を扱う。

(3) 指導について

本単元の指導においては、単元の目標を達成できるよう、単元全体を通して「話すこと〔発表〕」につなげることを意識した活動を取り入れる。具体的には、教科書本文の読解や語彙・表現の学習、音読活動にとどまらず、学習した語彙・表現を活用して、読んだ内容を再現する Retelling を取り入れ、ペア・グループでの活動を多く取り入れながら、段階的に「話すこと〔発表〕」の活動に近づけていく。また、内容面では、題材を通して扱う登場人物の業績やその背景にある思いを他人ごととして捉えるのではなく、生徒自身にも地球市民の一員としての自覚が芽生え、国際社会に貢献できるという意識につながるよう指導する。

3. 単元名

Unit 8 Working Overseas

4. 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

社会的な話題（将来海外でしてみたいこと）に関して、聞いたり読んだりしたことを基にして、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

(2) 評価規準

「話すこと〔発表〕」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・受け身、助動詞を含む受け身を用いた文の構造を理解している。 ・将来海外でしてみたいことについての自分の考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の一員としての自覚を高めるために、将来海外でしてみたいことについて自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の一員としての自覚を高めるために、将来海外でしてみたいことについて自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

5. 単元の指導と評価の計画 (全 13 時間)

時間	ねらい (■)、言語活動 (丸数字)	知	思	態	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ■海外で働くということに興味・関心をもつ。 ①教科書の写真について、気付いたことや知っていること、想像できることをペアで自由に伝え合う。 ②海外で働く日本人について、関連動画を視聴する。 ■単元の目標を確認する。 ■単元の最後に行うパフォーマンステストについて見通しをもつ。 ①ALTのモデルを視聴する。 	<p>る。間 行 う。活 動 さ せ て い る だ け に な ら な い よ う 十 分 留 意 す</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通しての学習の振り返りは適宜行わせる。
2 5 7	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書本文の概要を捉え、受け身について理解する。 ①本文を聞いて概要を捉える。 ②本文の音読活動や内容理解をする。 ③受け身を用いた文の構造を理解し、必要なことを伝え合ったり書いたりする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時
8	<ul style="list-style-type: none"> ■自分のお気に入りのものについて、受け身の表現を用いてショートプレゼンテーションを行う。 ①本文のリスニング活動や音読活動を行う。 ②教師のモデルプレゼンテーションを聞く。 ③発表原稿・スライドを作成し、プレゼンテーションの準備を行う。 ④グループでプレゼンテーションを行う。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に行うパフォーマンステストの評価基準を示し、今後の学習活動の見通しを持たせる。
9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書の動物保護活動についてのインタビューを読んで、概要を捉える。 ①本文を聞いて概要を捉える。 ②本文の音読活動や内容理解をする。 				

<p>11</p> <p>・</p> <p>12</p>	<p>■将来海外でしてみたいことについて、理由を含めて話して伝える。</p> <p>①将来海外でしてみたいことを考え、ペアやグループで伝え合う。</p> <p>②次の事項を含めたスピーチのアウトラインやメモを作成する。</p> <p>・将来海外でしてみたいこと</p> <p>・なぜそれをしてみたいのか</p> <p>・そのために、中学生の間に取り組みたいこと</p> <p>③作成したアウトラインやメモを活用し、ペアでスピーチを行い、内容に関して質問をし合う。ペアを変えて何度か行う。</p> <p>④目標の達成状況を振り返り、課題を明確にする。</p>	<p>十分に留意する。</p> <p>一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>	<p>・本単元の評価規準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、スピーチの構成、音声上の留意点、発表態度について確認をし、適宜フィードバックを行う。</p> <p>・聞き手に理解してもらえるような表現や語彙を選択するよう指導する。</p>
<p>13</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	<p>○ ○ ○</p>	

6. パフォーマンステストについて

(1) テスト内容

将来海外でしてみたいことについて、自分の考えを理由とともに話して伝える。

(2) 指示内容

第10時に、次の指示文を配布する。生徒は、第10時及び第11時に、話す内容についてアウトラインやメモ、提示するスライドを作成する。

自分自身について、

①将来、どこの国・地域で何をしてみたいかを示し、

②なぜそれをしてみたいのかの理由、

③そのために、中学生の間にどのようなことに取り組みたいか、

の3点について、1分程度で話して伝えましょう。

メモを用意して、必要に応じてメモを参照しながら話しても構いませんが、原稿を書くことはできません。

また、視覚的な補助としてスライドを作成し、有効に活用しながら話して伝えましょう。

(3) 実施方法

- ①5人程度のグループに分け、各グループにタブレットを用意する。
 - ②「発表→発表後に聞き手との質疑応答」の流れで進め、録画する。
 - ③録画したものを視聴して、採点の基準に従って評価を行う。
- ※生徒に採点の基準を事前に提示する。

(4) 採点の基準

単元を通して指導したことを踏まえ、次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、三つの条件を満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1:将来、どこの国・地域で何をしてみたいかを示している。
条件2:なぜそれをしてみたいのか理由を述べている。
条件3:そのために、中学生の間にどのようなことに取り組むかを述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手にわかりやすい音声等で伝えている。	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えている。	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えようとしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声で話している。	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

7. 本時の指導 第8時／全 13 時間

(1) 本時の目標

自分のお気に入りのものについて、受け身の表現を用いてショートプレゼンテーションを行うことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点など	評価規準及び評価方法	
1. Warming Up ①Greeting ②Small Talk ③Review(Reading aloud) ④Review(Listening Comprehension)	・基本的な挨拶や日常的なやり取りから授業を開始し、英語学習への意欲を高める。 ・音読活動やリスニング活動を通して、本時の活動で受け身の表現を活用できるよう振り返らせる。		
2. 本時の目標・活動の流れの確認			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <p>【Today's Goal】 To give a short presentation about my favorite ○○○○ in English.</p> </td> </tr> </table>			<p>【Today's Goal】 To give a short presentation about my favorite ○○○○ in English.</p>
<p>【Today's Goal】 To give a short presentation about my favorite ○○○○ in English.</p>			

<p>3. Listening</p> <p>①教師のモデルスピーチを聞き、発表内容やスライドを用いた発表の仕方を確認する</p>	<p>・教師が提示するスライドや発表原稿は、生徒が繰り返し確認できるよう、ワークシートに示しておく。</p>	
<p>4. Preparation</p> <p>①教師のモデルスピーチを参考に、発表原稿を考える。</p> <p>②Google Slidesを用いて、発表スライドを作成する。</p>	<p>・受け身を正しく使えるように、例を豊富に示す。</p> <p>・スライドを作成することが目的にならないように、画像やキーワードを貼り付けるなど簡潔に作成するよう声かけをする。</p>	
<p>5. Presentation</p> <p>①4人グループで順に、作成したスライドを用いて1分間でショートプレゼンテーションを行う。</p>	<p>・スライドを指さしたり、アイコンタクトをとったりといった発表の仕方のポイントを確認し、机間指導を通して声かけをする。</p>	<p>プレゼンテーション</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け身の表現が適切に使用されている。 ・聞き手にわかりやすい音声で伝えている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りのものについて、簡単な語句や文を用いて話している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りのものについて、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。 <p>*単元末に行うパフォーマンステストと合わせて総合的に評価する。</p>
<p>6. 本時の振り返り、今後の授業についての確認</p> <p>①本日のプレゼンテーションについて振り返りを書く。</p> <p>②単元末に行うパフォーマンステストの評価基準を確認する。</p>	<p>・単元末に行うパフォーマンステストの評価基準を示し、自身の取組を振り返り、今後の学習活動の見通しをもたせられるよう指導する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>